

# 良寛さま

作詞 赤松 月船

作曲 細川 潤一

編曲 平林 龍

Fm Gsus4 C5 Fm/C C5 Fm/C C5

はなは(つ)なのはな すみればな  
あさなゆうなに ながめいる  
くれたやまみち おちばみち

はなは(つ)なのはな すみればな  
あさなゆうなに ながめいる  
くれたやまみち おちばみち

Fm7 Fm/A♭ Cm/E♭ Fm7 Fm9 Fm Fm/C Ddim/Fm Ddim7 Fm/A♭ G+5 G/F

げんげの—はなも さいている りょう かんさ まは まりをつく  
なみまに—うかぶ さどがしま りょう かんさ まは こいしいの  
ころころ—くりの いがのみち りょう かんさ まは ひきとめる

げんげの はなも さいている りょう かんさ まは まりをつく  
なみまに うかぶ さどがしま りょう かんさ まは こいしいの  
ころころ くりの いがのみち りょう かんさ まは ひきとめる

Cm Fm Cm/E♭ Ddim7 Cm G5 C5 Fm/C Ddim7 Cm/E♭ Fm7 Fm9 Fm

か わるがわるに こどもらと— ひふみよい—むな まりをつく  
さ どはしなれた ははのさと— しあわせだろうか おかあさん  
つ きがでるまで かえさない— くらいといがで— すべるから

か わるがわるに こどもらと— ひふみよい—むな まりをつく—  
さ どはしなれた ははのさと— しあわせだろうか おかあさん—  
つ きがでるまで かえさない— くらいといがで— すべるから—

C/E D♭ Ddim7 Cm A♭ B♭ C Fm7

か す み た— つ な— が き はる ひ を こ—  
み ず く— き— の— あ— と き な み— だ— に— か—  
つ き よ— み— の— ひ か— り— を— ま— ち— て— か—

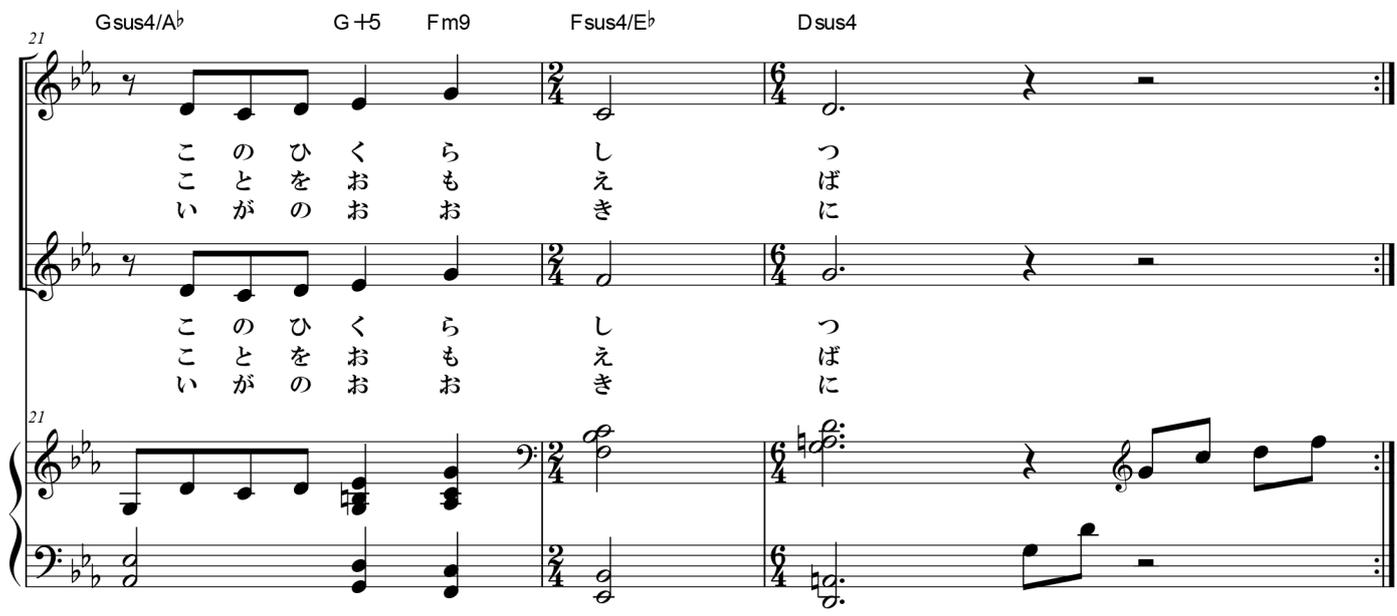
か す み た— つ な— が き はる ひ  
み ず く— き— の— あ— と き な み— だ— に—  
つ き よ— み— の— ひ か— り— を— ま— ち— て—

D♭M7 Ddim7 E♭M7 Fm Cm/G G/F Gsus4/E♭ Ddim7 G Cm Fm Cm/A♭

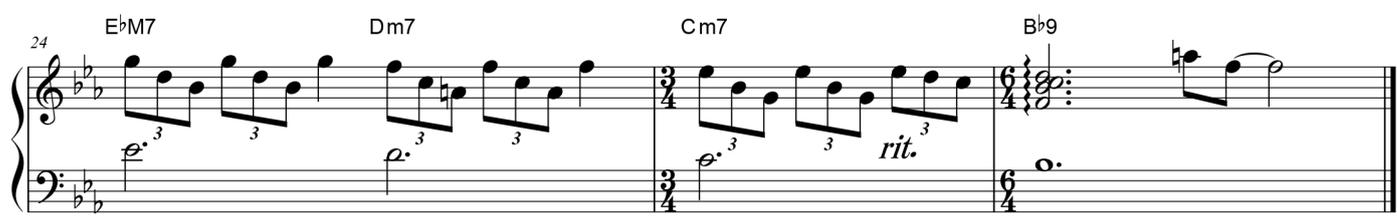
ど— も— ら— と— て— ま— り— つ— き— つ— つ—  
す— み— け— り— あ— ま— り— し— む— か— し— の—  
え— り— ま— せ— や— ま— じ— は— く— り— の—

こ— ど— も— ら— と— て— ま— り— つ— き— つ— つ—  
か— す— み— け— り— あ— ま— り— し— む— か— し— の—  
か— え— り— ま— せ— や— ま— じ— は— く— り— の—

21 Gsus4/A<sup>b</sup> G+5 Fm9 Fsus4/E<sup>b</sup> Dsus4



24 E<sup>b</sup>M7 Dm7 Cm7 B<sup>b</sup>9



## まごころに生きる

(一) そよ吹く風に小鳥啼き  
川の流れもささやくよ  
季節の花はうつりゆき  
愛しい人は今いずこ  
ほほえみひとつ涙ひとつ  
出逢いも別れも抱きしめて  
生きてる今を愛して行こう

(二) 広がる海ははてしなく  
全ての命はぐくむよ  
人の心もおおらかに  
互いを敬い信じ合おう  
ほほえみひとつ涙ひとつ  
出逢いも別れも抱きしめて  
生きてる今を愛して行こう

(三) 幼い頃にいだかれた  
温もり今も忘れない  
この世でうけた幸せを  
そつとあなたにささげましょう  
ほほえみひとつ涙ひとつ  
出逢いも別れも抱きしめて  
生きてる今を愛して行こう

## 良寛さま

(一) 花は菜のはな 菫ばな  
げんげの花も 咲いている  
良寛さまは 毬をつく  
かわるがわるに こども等と  
ひふみよいむな 毬をつく  
霞立つながき春日を  
こどもらと手まりつきつつ  
この日暮らしつ

(二) 朝な夕なに 眺め入る  
波間にうかぶ 佐渡が島  
良寛さまは 恋しいの  
佐渡は死なれた 母の里  
しあわせだろうか お母さん  
水茎のあとも涙にかすみけり  
在りし昔の ことをおもえば

(三) 暮れた山みち 落葉みち  
ころころ栗の いがの路  
良寛さまは ひきとめる  
月が出るまで 帰さない  
暗いといがで 迂るから  
月読みのひかりを 待ちて帰りませ  
山路は栗のいがの多きに